

明治大学体同連テコンドー部

後期行動報告書

2008年3月31日

明治大学テコンドー部の下半期（2007年10月1日から2008年3月31日）の
諸活動・行動について報告致します。

項

1. 練習体制についての報告
2. 平成19年度後期の主要行事等の報告
3. 大会報告
4. 生明祭
5. 四大飲み会（x'masパーティー・後期納会）
6. 昇級・昇段審査
7. 合宿（春季強化合宿）
8. 追いコン

1. 練習体制についての報告

A) 練習日及び時間

曜日	月曜日	火曜日	木曜日	土曜日
内容	通常練習	強化練習	通常練習	通常練習
時間	18:00 ~ 21:00	18:00 ~ 21:00	18:00 ~ 21:00	14:00 ~ 17:00
場所	道場	道場	道場	体育館

B) 春季休業中（2月1日から3月31日）の練習

春季休業中は下記の時間帯で練習を行いました。

曜日	月曜日	火曜日	木曜日	土曜日
内容	通常練習	強化練習	通常練習	通常練習
時間	10:00 ~ 13:00	17:00 ~ 20:00	10:00 ~ 13:00	14:00 ~ 17:00
場所	道場	道場	道場	体育館

2. 平成18年度後期の主要行事等の報告

	行事等行動内容
10月	四大学交流試合、多摩区民祭
11月	生明祭
12月	全日本テコンドー選手権大会 南関東オープン大会 X'masパーティー
1月	(後期テスト期間)
2月	全日本学生テコンドー選手権大会 昇級昇段審査 後期納会
3月	全日本プムセ大会 東京都大会

	春季強化合宿 追いコン 大東オープン
--	--------------------------

3. 大会報告

A) 全日本テコンドー選手権大会

12月8日、駒沢大学体育館にて全日本テコンドー選手権大会が行われました。初代主将であった岩本聖をはじめ、昨年度の全日本学生選手権大会、9月に行われた東日本大会により切符を獲得した、過去最多の計13名が出場をしました。監督・部員およそ50人が応援にかけつけました。結果は多くの選手が1回戦、2回戦敗退に終わってしまい全日本のレベルの高さを実感しましたが、院生の伊庭和宏がヘビー級優勝を果たし、テコンドー部史上初の全日本優勝者を輩出しました。伊庭の優勝は明大の広報にも大きく取り上げられ、部員にとって大きな刺激となりました。

『大会結果』

男子ヘビー級 伊庭 和宏 優勝

C) 南関東オープンテコンドー選手権大会

12月15日(土)に横浜市保土ヶ谷スポーツセンターにて南関東オープンテコンドー選手権大会が行われました。今大会は、参加者300名という大きな規模でおこなわれ、明治大学からは男子7名、女子3名の計10名が出場しました。大会成績はその内3名が入賞、また宮島早苗がテコンドー部史上初のプムセ部門での入賞を果たしました。

『大会結果』

男子フライ級 廣瀬 遼平 優勝

男子ウェルター級 高瀬 允博 優勝

有段者プムセ部門 一般女子の部 宮島 早苗 準優勝

D) 全日本学生テコンドー選手権大会

2月10日(日) 駒沢大学体育館にて全日本学生選手権大会が行なわれました。明治大学からは男子10名、女子9名の計19名が出場し、総勢約40名の部員が応援に駆けつけました。本大会は全日本テコンドー選手権大会の予選でもあり、入賞者には全日本選手権の出場資格が与えられます。全国から選手が集まり、大阪からの強豪選

手の目立った、白熱した試合が行われました。結果、8人もの選手が入賞、二代目主将の古舘静が女子バンタム級学生王者の座を獲得しました。

また、古舘を筆頭とする今大会での明大の活躍は、テコンドーオンラインというホームページにも取り上げられ、部員にとって大きな自信と希望を与えました。

『大会結果』

男子フライ級 廣瀬 遼平 第三位+敢闘賞
男子フェザー級 山崎 雅司 第三位
女子フライ級 三宅 真央 第三位
井上 実紗 第三位
女子バンタム級 古舘 静 優勝
保谷 美恵 第三位
下中 香代子 第三位
女子フェザー級 加藤 萌 第三位

E) 東京都大会

3月2日(日)明治大学和泉校舎体育館にて東京都大会が行われました。8時30分から計量があり全員が通過しました。その後、9時30分より開会式が行われ試合が開始されました。明治大学からの参加選手は初級4名、上級2名の合計6名でした。

また、今回は和泉校舎で試合が行われた事もあり、明治大学から2人の部員が審判を行った他、応援に駆けつけた部員は競技役員としても積極的に働き、明大で行われた初のオープン大会を無事成功させることが出来ました。

『大会結果』

男子 - 58kg 初級 岡田光司 準優勝
平井 倫太郎 第三位
男子 - 68kg 初級 庄田 樹 準優勝
男子 - 68kg 上級 太田 洋一 準優勝+敢闘賞
女子 - 48kg 初級 山岡 ゆみ 準優勝

F) 全日本テコンドーブムセ選手権大会

大阪にて全日本テコンドーブムセ選手権大会が開催されました。明治大学からは、清水冬音が出場し6名の部員が応援に駆けつけました。惜しくも入賞することは出来ませんでしたが、今後は、さらに多くの選手がブムセ大会に出場し活躍することを期待したいです。

『大会結果』
清水 冬音 出場

G)第五回大東オープンテコンドー選手権大会

3月30日(日)大東文化大学の体育館にて、第五回大東オープンテコンドー選手権大会が開催されました。個人戦(上級・初級)と団体戦が行われ、OBも含め明大からは個人戦2名、団体戦2チーム6名が出場しました。

オープン戦には珍しく計量が行われ、マウスピースやグローブ等の着用が促されていた事から、日本でのテコンドーの試合の本格化が示唆されたものとなりました。

また明大は『打倒大東大』のスローガンを掲げるにあたり、この試合にはもっとたくさんの部員が出場し、勝たなければいけない大会だという事を痛感した試合となりました。

個人戦の部	
階級	結果
上級男子-68kg級	準優勝：岩本 聖
初級女子フィン級	三位：小笠原 美緒
団体戦の部	
女子：準優勝	チーム名：チーム明女 メンバー：下中 香代子 藤本 佳那 井上 実紗

4. 多摩区民祭、生明祭

A) 多摩区民祭

今年の多摩区民祭は2007年10月21日(土)に行われ、演武を行いました。

演武幹事：小林、井上、久保

出演者： 院生 伊庭

4年生 廣瀬、古舘、加部、高瀬、山崎、小杉

3年生 保谷、荻原、野口、宮島

2年生 小林、清水(冬)、清水(正)、横山

1年生 久保、吉本、石川、平井、吉田、岡田、水谷、金粕、矢澤

司会：井上、加藤(2年) 音響：池田(2年) ビデオ：山岡(2年)

タイムキーパー：清水(し)(2年)

内容は、型・板割・護身術・テコンビクス・劇でした。今回、テコンビクスを新しく作り直した事もあり、なかなか本番までに完成度を高めるのが大変でしたが、短期間で集中した練習を行い、無事成功させる事が出来ました。

板割には風船と板を使用しました。しかし今回、練習不足により一回で板を割ることの出来なかった出演者が目立ち、観客から『やり直し、やり直し！』との声が聞こえてきたことが残念でした。

B) 生明祭

2007 年度も部全体の交流を深めるために、生明祭に出店しました。今年度も三年生の幹事、二年生の総幹事、一年生の総幹事、調理を取り仕切る調理幹事、全体のお金を管理する会計幹事、シフトや商品のアピールのポスターを作製する宣伝幹事、レンタル器材の管理や出店のアピールの看板を作製する施設幹事、演武の企画や練習を取り仕切る一・二年生の演武幹事をそれぞれ 6 月中までに決定しました。二年生と一年生の総幹事は 5 月下旬から生明祭ガイダンスに出席し、重要なことをその都度部全体に報告して全体が活動できるようにしていました。その他の幹事とも、随時話し合いをして活動していました。

8 月上旬に第一回試作会を行い、夏季強化合宿中に販売する商品をコグマタンに決定し、その後も試作会を 2 回ほど行い、どの様な販売形式にするか、宣伝文句は何にするか等を話し合いました。また 9 月からは、月 1 回のペースで二年生総幹事と一年生諸幹事で話し合いを行いました。

今年は生明祭の出店のスローガンを、『とにかく儲ける(ガッツリ儲ける事を目的とすれば、自然と楽しさもついてくる)』に設定しました。

OB による、『引換券を一日に一番多く売ってきた者には金一封を授与する』、という企画もあった結果、コグマタンはなかなかの売れ行きを見せ、楽しく活動を行う事が出来ました。

5. 四大飲み会 (X'mas パーティー・後期納会)

A) X'mas パーティー

12 月 22 日、食堂で、17 時から 20 時まで第 4 回クリスマスパーティーが行われました。このパーティーは忘年会も並行して開催されました。参加者は 47 人で、やや欠席者が目立ちました。誕生日会、ゲーム、ファッションショーが行われました。ゲームはチーム対抗で行われ、優勝チームには賞品が出ました。昨年にはなかった試みで、大いに盛り上がりました。ファッションショーは、全てチーム対抗で行う予定でしたが、準備不足のため、希望チームだけがチームでパフォーマンスを行い、それ以外は例年通り個人でパフォーマンスを行いました。準備期間が短かったにもかかわらず、部員それぞれの個性のおかげで、楽しいものになりました。ファッションショーの上位者には賞品が贈呈され、また、監督からもすばらしい賞品をいただきました。今年も部員による差し入れのケーキ、手作りケーキをみんなで食べました。今年の反省から、来年は年末が行事ラ

ッシュであることに十分に注意し、準備期間を取るようにつけたいです。

B) 後期納会

2月10日(日) 渋谷にて後期納会が行われました。全日本学生選手大会当日に行われたため、フォーマルな服装ではなく、ラフな服装での会となりました。19時00分から22時00分の3時間、部員が一同に介し全日本学生大会打ち上げを兼ねて活動納めをしました。

6. 昇級・昇段審査

A) 2月16日(土) 浅草リバーサイドにて昇級・昇段審査が行われました。

今回は5人の部員が昇段を果たしました。

しかし、総部員数64人のこの部ですが、今回審査を受けられたのは20人程度と、大変少ないものでした。次回の審査では部員全員が昇級・昇段を認めて頂ける様に、幹部学年を中心に部を盛り上げていきたいです。

7. 合宿(春季強化合宿)

A) 春季強化合宿

今年も山梨県の山中湖にある“グリーンヒルズ ニューみなみ”という宿で、3月15日から19日までの4泊5日で春季強化合宿が行われました。今回は、合宿のローンを『部の団結』に設定し、部屋割も学年ごとでは無く縦割りにしたことで、学年の壁を超えた意思疎通を図りました。今年は、初日の練習を学校の体育館にて始め、走り込み中心のメニューを行いました。また、マネージャーによる書籍発表を行い、合宿中の理想的な食事メニューなどについて調べ、今後テコンドーをする上で役立てるために行われました。そして練習後、一旦自宅に戻りました。

2日目は、バスで山中湖の宿まで移動しました。前日の練習により怪我をして参加出来なくなってしまった者もいましたが、この日は午後練3時間でステップを中心に行いました。また、夜は4月に来たる新歓活動の方針について話し合いの場を設け、充実した時間を過ごしました。

3日目は山道をランニングする朝練に始まり、午前3時間、午後2時間の実践的な練習を行いました。その後、フリータイムとして、6チームに別れてバスケットボールとロシアンルーレットを行いました。今回、負けたチームに罰ゲームがあるだけでなく、優勝した

チームには商品が出るということもあり、大変な盛り上がりを見せ、皆筋肉痛を忘れ大いに楽しみました。

4日目もまた朝練から始まり、午前・午後は、防具をつけたキョルギ大会が行われました。軽量級、重量中量級に別れ、男子はトーナメント、女子はリーグ戦を行いました。また最後には3人ずつに分かれ団体戦を行いました。

この日の夜には飲み会を行い、その中でOBから、今回のキョルギ大会での優勝者、技能賞、敢闘賞に該当した者に対し賞品が贈呈されました。また、合宿ならではの一発芸などで大いに盛り上がりました。最終日の午前中は、卒業を控えた四年生との『追い出しキョルギ』を行い、午後には宿舎を出発し生田で解散しました。

今回は幹部学年が引っ張る最初の合宿でしたが、新年度を迎えるにあたって、部員の成長が顕著に見られ、『部の団結』というスローガンに沿った、大変中身の濃い合宿となりました。

8. 追いコン・さよなら練習

2008年3月22日に、四年生最後の練習である『さよなら練習』を行いました。

追い出し練習では4年生メインの練習を行い、感慨深いものとなりました。

その後、追い出しコンパの一次会を学食で17時から20時で行いました。

大内部長・本所部長・OBOGの方々からの御挨拶があり、また、4年生の親御さんから事前に頂いた手紙の朗読や、在校生から手作りのアルバム、Tシャツのプレゼントもありました。最後に4年生全体から挨拶もありました。在校生それぞれが自分から4年生と話をしにいき、4年生はもちろん、在校生にとっても心に残る会となりました。

二次会は、新百合ヶ丘のやる気茶屋で行われました。一次会に参加したほとんどの部員が参加し、浅草道場の師範・監督からの御挨拶がありました。卒業間近の4年生に在校生から感謝の気持ちを伝えるとともに、初代から作り上げてきた伝統、また練習を共にし、作り上げてきた絆の深さを再確認し、これからの部の発展に繋がるものとなりました。

4年生も4年間の思い出や、お世話になった方々へ感謝の気持ちを伝える良い機会となりました。